

令和6年度始良地区歯科医師会 学会の開催について

平素より本会の活動に御理解、御協力を賜り感謝申し上げます。

さて、下記の要領で、学会を開催いたします。何かと慌ただしい年末ではありますが、多くの会員の先生方、スタッフの方のご参加をよろしくお願い申し上げます。

今年度の会員発表は、禰答院歯科クリニック 院長 禰答院 公興先生、特別講演は、東京科学大学 小児歯科学・障害者歯科学分野教授 岩本 勉先生にご講演いただきます。

参加ご希望の方は、準備の都合上11月23日（土）までに、本会事務局（FAX：0995-58-4389）まで下記へご記入の上、ご返信ください。

記

日 時 令和6年12月7日（土）15時
場 所 始良地区歯科医師会館 大会議室
霧島市溝辺町麓872-2（TEL：0995-58-4388）

【学会】 1. 会員発表

講師：禰答院歯科クリニック 院長 禰答院 公興 先生
演題：「デンタルクレンリネスを始めよう！」

2. 特別講演

講師：東京科学大学 小児歯科学・障害者歯科学分野 教授 岩本 勉 先生
演題：「口腔機能の異常が関連する空気嚥下症への対応」

※ 特別講演は日歯生涯研修の対象となります。参加の方はICカードをご持参ください。

※ 鹿児島県歯科医師会の会員外の参加は事前に本会事務局までご連絡をお願いいたします。

参加申込 返信先：始良地区歯科医師会事務局 行（FAX：0995-58-4389）

（ ） 歯科医師会

ご氏名：【 _____ 】 参加者の人数：【 _____ 名】

<特別講演>

【演題】 「口腔機能の異常が関連する空気嚥下症への対応」
【演者】 東京科学大学 小児歯科学・障害者歯科学分野教授 岩本 勉 先生

【抄録】

空気嚙下症は、会話や食事の際に、一緒に飲み込んでしまう空気が過剰になったり、排出がうまくいかないときに問題が発生する病気で、重度な場合は、学校に通うことができないなど、日常生活に多大な支障をきたしてしまうことがあります。

平成30年に日本歯科医学会が「口腔機能発達不全症」を疾患名として設定して以降、多くの歯科医院で、子ども達のお口の機能を支援する治療や訓練が活発に行われるようになってきました。そのような背景もあり、最近、「空気嚙下症」で困っているということで、小児歯科を受診されるお子さんが時々いらっしゃいます。そのようなお子さんを診察しておりますと、口腔機能の問題と関連があることがわかり、個々が抱える口腔機能の問題の改善を図ることで、「空気嚙下症」が完治することもわかってきました。

本日は、口腔機能発達と空気嚙下症という病気に焦点をあててお話しさせていただきたいと思っております。

【略歴】

1999年 長崎大学歯学部 卒業 2002年 長崎大学大学院歯学研究科博士課程修了
2004年 米国国立衛生研究所 客員研究員 2006年 九州大学病院 小児歯科 助教
2009年 東北大学病院 小児歯科 助教 2012年 東北大学病院 小児歯科 講師
2013年 徳島大学 小児歯科学分野 教授
2020年 東京医科歯科大学 小児歯科学・障害者歯科学分野 教授
2024年現在 東京科学大学 小児歯科学・障害者歯科学分野 教授（大学名称変更）

<会員発表>

【演題】 「デンタルクレンリネスを始めよう！」

【演者】 祁答院歯科クリニック 祁答院 公興 先生

【抄録】

「クレンリネス」とは「清潔」という意味で、清潔な状態を保つこと、汚れる前にキレイにすることとして予防清掃とも言われます。飲食店の経営で大切にすべき原則は「QSC」と言われています。

これは、「Quality」「Service」「Cleanliness」の頭文字を取った言葉で、顧客満足度を高めるうえで重要な指標として認知されています。

このようなクレンリネスの概念は歯科医療従事者にはとてもわかりやすいと思います。まさに予防歯科ではないでしょうか。多くの先生が毎日のように虫歯予防、歯周病予防のために定期検診をお勧めしていると思います。

医院の効率的な清掃をお考えでしたら、少ない時間で大きな効果を得られるデンタルクレンリネスの導入をお勧めいたします。効果的な方法で清掃を行うことで作業自体を簡素化し、時短しているにも関わらず、より見栄えの良い清潔な環境を作ることができます。

今回の発表では、簡単ではありますが、当院におけるデンタルクレンリネスの取り組みを発表させていただきます。